

第16回アジア競技大会 2010

大会名	16th Asian Games 2010 Guangzhou	日付	2010年11月15日 17:30~
場所	Aoti Hockey Field Pitch1	天候	晴れ
試合数	予選リーグ第1戦	通算結果	日本1勝

Country	RESULT	Country
日本 JAPAN	Full Time 3 - 1 Half Time 0 - 1	バングラデシュ BANGLADESH

Start	No.	Name	Card
×	1	小澤 和幸	
×	2	三澤 孝康	
	3	粥川 幸司	
×	5	塩川 直人	
	6	三谷 元騎	
	7	長岡 俊輔	
	8	畠山 学	
×	9	山堀 貴彦	
×	10	穴井 善博	
×	11	北里 謙治	
×	12	坪内 一浩(CAP)	
×	14	長澤 克好	
×	19	川上 啓	
×	20	高瀬 克也(GK)	
	22	小野 知則	
×	23	坂本 博紀	52'G
Coach	Siegfried Aikman(NED)		
UMPIRE	KANABATHU Ilango(MAS)		

Start	No.	Name	Card
×	1	HOSSAIN Md.Zahid(GK) (C)	
×	2	CHAYAN Mdmamunur Rahman	
×	3	BIPOB Md.Mosir Rahman	46'G
×	4	PINTO Md.Imran Hasan	
×	6	NANNU Sheikh Md.	
×	9	KHISA Pushkor	
×	10	MAHAMUD Rashel	
×	11	KUMIR Krishno	
11	12	HOSSAIN KUTI Md.Musharraf	
22	14	RIAZ Md.Imran Ahamed	27'G
×	15	BARMON Taposh	57'G
	16	KABIR Md Enamul	
×	18	KAMRUZZAMAN A.H.M	
11	19	ALAM Md.Maksud	
×	20	SUMON Md.Hosney Mobarok	
	22	ISLAM Md.Rafiqul(GK)	
Coach	RACH Garhard Peter(GER)		
UMPIRE	CHEN Dekang(CHN)		

Country	Min	Name	Action	Score
BAN	9	KUMIR Krishno	FG	0-1
JPN	47	山堀 貴彦	PC	1-1
JPN	56	長澤 克好	PC	2-1

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	69	小澤 和幸	FG	3-1

(前半)

第16回アジア競技大会、初戦の相手はバングラデシュ。世界ランキングは34位と格下の相手ではあるが、個人技が高く、ドイツ人コーチを招聘し組織力も強化されており、侮れない相手である。試合は両チームとも相手の出方をうかがう静かな立ち上がりとなる。それでも徐々に日本がペースを掴み、自陣に引いて守るバングラデシュに対し、しっかりとボールをキープしながら相手ゴールに迫る。しかし9分、23メートル付近のFHからタッチシュートを決められ、まさかの先制点を奪われてしまう。ここから日本はフルプレスに守備戦術を変更し、早い時間での同点ゴールを狙う。しかし初戦の緊張からかチャンスは作るもののサークル内でのプレーに精度を欠き、なかなかゴールを割ることができない。16、19分には立て続けにPCのチャンスを得るが、山堀のドラッグフリックは相手DFに阻まれてしまい、1点のリードを許したまま前半を終えた。

(後半)

後半も日本のペースで試合が進む。そしてむかえた47分、この日3本目となるPCのチャンスを出した山堀が左下に決め同点に追いつく。一気に畳み掛けたい日本であったが、バングラデシュも上手く時間を消費しながらなんとか引き分けに持ち込もうとする。なかなかゴールが奪えず嫌な時間が続いたが56分、No.14長澤のドラッグフリックがゴール左上に豪快に決まり、ついに日本が逆転に成功する。これでゴールを狙うしかなかったバングラデシュは攻勢にでるが、日本DF陣は落ち着いた守りでゴールを許さない。終了間際の69分には早いリスタートからNo.1小澤、山堀とつなぎ、No.22小野がシュート。このシュートはGKに止められてしまうが、こぼれたボールを小澤がダイレクトで押し込み試合を決定づける3点目を奪う。試合はこのまま終了。苦戦はしたものの、難しい初戦で勝ち点3を獲得し、幸先の良いスタートを切った。

日本	58%	ボール保有率	42%	バングラデシュ
	11	シュート数	2	
	6	PC数	0	